



木場小だより

教育目標：自ら学び、心豊かでたくましく 未来の創り手となる児童の育成



令和8年1月27日

発行

校長 吉田 亜紀

木場小キャラクターキバシカ

始業式(1/8)

3学期が始まりました。始業式では、生徒指導担当から、「うまどし」にかけて、生活のリズムを整えることや、1, 2月の生活のきまり「最後までがんばろう」についての話がありました。また、冬休みの思い出を全校で話し合う「新春全校ねじまきタイム」を行いました。今回は相手と会話のキャッチボールをすることをめあてに対話をしました。会話のキャッチボールにするために、「しっかり話を聞くこと」「質問すること」「反応すること」を大切にしながら行いました。体育館のあちこちで、楽しそうに会話する様子が見られました。3学期も、自分の考えや思いを友達と伝え合うことで、自分が思いつかなかった考えを知ったり、自分の考えの良さを再確認したりし、学びを広げ、深めていきたいと思います。

3学期は「次の学年の0学期」と言われます。始業式にも家庭学習についての話もしましたが、自分のための学習を自分から進めてほしいと思います。やりたいことを少し我慢して取り組むことが、自律の気持ちを培うことにもつながります。今の学年で身につけることをしっかりと自分の力にしてほしいと思っています。



書き初めの会

どの学年でも静まり返った中、書き初めの会を実施しました。出来上がった作品は、冬休みの練習の成果が表れて、たいへん上手でした。力作が多く、審査する先生方を悩ませました。筆運びに、真剣な表情に、新年のやる気が伝わってきました。

